

キーセッション4

9:00～10:30

第1会場

安全と安楽のジレンマ ディスポーザブルタオルの開発と普及から

看護職が清拭をする意味と価値：何を目的に清拭をし、何を評価するのか

リーダー：矢野 理香(北海道大学大学院 保健科学研究院)

看護専門性の象徴としての清潔ケア技術の探究

演者：深井 喜代子¹⁾、松村 千鶴²⁾

1)岡山大学大学院 保健学研究科、2)香川県立保健医療大学

看護組織で実現する清拭の安全性と安楽性

演者：澁谷 幸(神戸市看護大学 基盤看護学領域基礎看護分野 准教授)

キーセッション5

10:40～12:10

第1会場

看護の本質と役割のジレンマ 看護師は何をする人なのか

看護の本質と役割のジレンマ ー看護師は何をする人なのかー

リーダー：上泉 和子(青森県立保健大学 学長)

看護の本質と役割のジレンマ：看護師は何をする人なのか

演者：菱沼 典子(三重県立看護大学 学長)

看護の本質と役割の重なる場を創り出すこと

演者：嶋森 好子(岩手医科大学 看護学部長)

キーセッション6

13:10～14:40

第1会場

安全と安楽のジレンマ 安楽は安全を導く ー抑制しない看護ー

ー抑制しない看護ーはどうしたら実現できるのか

リーダー：縄 秀志(聖路加国際大学)

高度急性期医療の場での抑制しない看護へのチャレンジ

演者：小藤 幹恵(金沢大学附属病院)

身体拘束縮小に向けた安楽の援助を大切にした安全対策
Safety-Iから Safety-IIへの認識の転換の経験から

演者：川野 恵智子(八戸市立市民病院 看護局長・副病院長)

セルフケア能力を高める支援と看護の力

演者：野月 千春(独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO) 東京新宿メディカルセンター)

人間存在を考え続けるきっかけになった事例

—筋委縮性側索硬化症から植物状態で生きていたYさんの事例を通して—

演者：角濱 春美(青森県立保健大学 健康科学部看護学科・健康科学研究科)

リラクゼーション法によって不快症状は緩和できるか

演者：柳 奈津子(群馬大学)

O-14 油性徐放性製剤の筋肉内注射後の硬結を予防する看護ケア方法の検討(その1)

—有効なケアに関する基礎研究—

○高橋 有里、武田 利明

岩手県立大学 看護学部

O-15 油性徐放性製剤の筋肉内注射後の硬結を予防する看護ケア方法の検討(その2)

—有効なケアに関する臨床での評価—

○高橋 有里、武田 利明

岩手県立大学 看護学部

O-16 輸液に伴う血管外漏出の医療事故の実態

○倉本 直樹、渡邊 順子

静岡県立大学 看護学部

看護技術の臨床適用

座長：茂野 香おる（淑徳大学 看護栄養学部）

O-17 急性期病棟看護師の退院支援に関する役割の認識○能塚 覚美¹⁾²⁾、堤 千代³⁾

1) 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院、2) 久留米地域包括支援センター、3) 聖マリア学院大学

O-18 臨床看護師に対する解剖生理学の継続教育の必要性

—脳神経系領域の観点からの検討—

○安田 みなみ¹⁾、大久保 暢子²⁾1) 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 博士前期(修士)課程、
2) 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 看護技術学・ニューロサイエンス看護学**O-19 身体拘束疑似体験を通じた看護師の意識変化**○福田 智子¹⁾、佐々木 尚美¹⁾、中川原 舞子¹⁾、佐藤 美由樹¹⁾、角濱 春美²⁾

1) 医療法人平成会 八戸平和病院、2) 青森県立保健大学 健康科学部・健康科学研究科

O-20 臥位状態における実測身長と推定身長の比較検討○平間 佐知子¹⁾、小池 祥太郎²⁾

1) 医療法人平成会 介護老人保健施設ナーシングホーム・オリーブ、2) 青森県立保健大学 看護学科

清潔ケア

座長：岡田 淳子（県立広島大学 保健福祉学部看護学科）

O-21 清拭後の皮膚バリア機能を評価する指標としての角質水分量の有効性と安定性

—経表皮水分蒸散量との比較—

○山口 真弥¹⁾²⁾³⁾、小川 結衣²⁾、矢野 理香³⁾

1) 北海道大学大学院 保健科学院、2) 北海道大学病院、3) 北海道大学 保健科学研究院

O-22 綿タオルとディスプレイタオルの部分清拭による皮膚の清浄度と

皮膚バリア機能の経時的変化

○小川 結衣¹⁾、土山 啓²⁾、山口 真弥³⁾、杉村 直孝³⁾、矢野 理香⁴⁾1) 北海道大学病院、2) 社会医療法人社団 愛心館 愛心メモリアル病院、3) 北海道大学大学院 保健科学院、
4) 北海道大学大学院 保健科学研究院**O-23 化繊タオルの含有成分の有無による全身清拭効果の比較**○宮脇 健介¹⁾、松村 千鶴²⁾、深井 喜代子³⁾

1) 広島国際大学 看護学部 看護学科、2) 香川県立保健医療大学 看護学科、3) 岡山大学大学院 保健学研究科

O-24 食物アレルギー患児のスキンケアへの介入による保護者の意識変化と今後の課題

○藤河 沙織

国立病院機構 仙台医療センター

温める・冷やすケア

座長：佐居 由美(聖路加国際大学 基礎看護学)

P-10 殿部への温罨法による硬結予防効果に関連する生理的変化の検証○原 好恵¹⁾、西村 直記²⁾、篠崎 恵美子³⁾

1) 朝日大学 保健医療学部 看護学科、2) 日本福祉大学 スポーツ科学部、3) 人間環境大学 看護学部

P-11 薬剤性静脈炎発症後に対する冷罨法の効果についての基礎研究

○馬場 磨陽、武田 利明

岩手県立大学 看護学部 看護実証病態学分野

P-12 清拭時における冷罨法による肺癌患者の呼吸困難緩和への働きかけ～冷却部位の違いによる緩和効果の比較～

○今野 博香

国立病院機 構仙台医療センター

P-13 高齢者への清拭時における10秒間温タオル貼用の皮膚表面温度別にみた効果の比較○宍戸 穂¹⁾²⁾、矢野 理香³⁾

1) KKR 札幌医療センター 看護部、2) 北海道大学大学院 保健科学院、3) 北海道大学大学院 保健科学研究所

睡眠

座長：若村 智子(京都大学大学院医学研究科・医学部)

P-14 看護学生の睡眠の実態とその特徴に関する文献検討○渡部 一拓¹⁾、矢野 理香²⁾

1) 北海道大学大学院 保健科学院、2) 北海道大学大学院 保健科学研究所

P-15 働く更年期女性における睡眠評価と唾液ホルモン反応○田中 美智子¹⁾、長坂 猛¹⁾、江上 千代美²⁾、松山 美幸²⁾、尾形 由起子²⁾

1) 宮崎県立看護大学、2) 福岡県立大学

技術教育

座長：篠崎 恵美子(人間環境大学看護学部・看護学研究科)

P-16 臨地実習における清拭指導場面の教員の教育意図と学生の認識○管原 清子¹⁾、高橋 多佳子²⁾、佐野 繁子²⁾

1) 静岡県立大学 看護学部、2) 静岡市立清水看護専門学校

P-17 初学者の血圧測定技術習得に教材用血圧計5号機を用いた教育効果

○児玉 裕美、萩原 智子、辻 慶子

産業医科大学 産業保健学部 基礎看護学講座

P-18 看護師の観察場面の視線と認知に関する文献検討○松島 正起¹⁾²⁾、角濱 春美³⁾

1) 青森中央学院大学 看護学部、2) 青森県立保健大学大学院、

3) 青森県立保健大学 健康科学部・健康科学研究科

P-19 ベッドサイドでの点滴確認場面における看護学生の患者への注視の特徴

○松島 正起¹⁾²⁾、角濱 春美³⁾

- 1) 青森中央学院大 学看護学部、2) 青森県立保健大学大学院、
3) 青森県立保健大学 健康科学部・健康科学研究科

示説6群

10:15~11:00

第7会場

臨床教育

座長：渡邊 順子(静岡県立大学 看護学研究科)

P-20 看護場面の再構成を用いたグループ・エンカウンターによる コミュニケーション技術演習の効果と課題

○土澤 るり

戸田中央看護専門学校 看護学科

P-21 看護基礎教育を担当する看護教員と医療機関の新人看護師教育担当者がとらえた 卒業時点の学生に求める看護技術修得とその現状

○中村 恵¹⁾、唐澤 由美子¹⁾、塩原 真弓²⁾

1) 中京学院大学 看護学部、2) 信州大学医学部附属病院

P-22 看護系大学の臨地実習におけるインシデントに関する文献検討

○細野 恵子

旭川大学 保健福祉学部 保健看護学科

示説7群

11:15~12:15

第7会場

技術の臨床適用

座長：梶谷 京子(青森県看護協会)

P-23 看護師の経鼻吸引技術におけるカテーテル操作の習得に求められる シミュレータ教材の条件

○佐久間 佐織、檜原 理恵

聖隷クリストファー大学

P-24 腰椎手術患者へのDVDを用いたコルセット装着指導効果

○小野寺 郁実、渡邊 佳代子、阿部 麻奈美

独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター

P-25 認知症ケアチーム活動3年目におけるリンクナース育成の現状と課題

○富樫 千代美

鶴岡市立荘内病院

P-26 看護過程から導かれる看護ケアの統合的文献レビュー

○江頭 典江

京都学園大学 健康医療学部 看護学科

摩擦軽減用具を用いたポジショニングケア「看護運動学」の萌芽へ

○窪田 静¹⁾⁶⁾、大宮 裕子²⁾⁶⁾、大久保 暢子³⁾⁶⁾、佐竹 澄子⁴⁾⁶⁾、小林 由美⁵⁾⁶⁾、佐々木 杏子⁵⁾⁶⁾

- 1) 愛媛県立医療技術大学、2) 西武文理大学、3) 聖路加国際大学、4) 東京慈恵会医科大学、
5) 神奈川県立保健福祉大学、6) 技術研究成果検討委員会 ポジショニング班

改訂「用具を使って楽に移乗介助を！ Q & A 2018」の作成に向けての検討

○西田 直子¹⁾、水戸 優子²⁾、國澤 尚子³⁾、若村 智子⁴⁾、平田 美和⁵⁾、小林 由実²⁾、
富田川 智志⁶⁾

- 1) 京都学園大学 健康医療学部 看護学科、2) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科、
3) 医療生協さいたま地域社会と健康研究所、4) 京都大学 医学部 人間健康科学科、
5) 東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科、6) 京都女子大学 家政学部 生活福祉学科

グリセリン浣腸の安全な実施に向けた検討と普及について考える

○栗田 愛¹⁾、吉田 みつ子²⁾、大久保 暢子³⁾、武田 利明⁴⁾、香春 知永⁵⁾

- 1) 人間環境大学、2) 日本赤十字看護大学、3) 聖路加国際大学、4) 岩手県立大学、5) 武蔵野大学

セルフケア支援のわざ：対話を通じた支援の可能性

○本庄 恵子¹⁾、田中 孝美¹⁾、木村 慶子²⁾、永利 公見²⁾、加藤 ひろみ³⁾、那須 照代³⁾、
末永 真由美⁴⁾、野月 千春⁵⁾、本館 教子²⁾、酒井 礼子⁵⁾

- 1) 日本赤十字看護大学、2) 聖マリアンナ医科大学病院、3) 日本赤十字社医療センター、4) 関東学院大学、
5) JCHO 東京新宿メディカルセンター

第1回 日本看護技術学会若手の会

～看護技術を語らう若手ネットワークを作ろう～

○長島 俊輔¹⁾、河嶋 亜衣²⁾³⁾、杉村 直孝²⁾、渡部 一拓²⁾、宍戸 穂²⁾⁴⁾、山口 真弥²⁾、
佐藤 早紀⁵⁾、安田 佳永²⁾

- 1) 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、2) 北海道大学大学院 保健科学院 看護学コース、
3) 天使大学 看護栄養学部 看護学科、4) KKR 札幌医療センター 看護部、5) 北海道大学病院 看護部

01 感染拡大防止における電子カルテ使用後の手指汚染の検討○坂下 優理子¹⁾、山根 未来²⁾、岡田 淳子³⁾

1) 県立広島病院、2) 国家公務員共済組合連合会 広島記念病院、3) 県立広島大学 保健福祉学部 看護学科

02 皮膚・排泄ケア認定看護師による消化管ストーマ造設患者への看護の実際と今後の課題

○高柳 衣里、管原 清子

静岡県立大学 看護学部

03 ICUにおいて発生する輸液ポンプのアラームに関する調査研究○勝亦 恵理香¹⁾、倉本 直樹²⁾、渡邊 順子²⁾

1) 地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院、2) 静岡県立大学 看護学部

04 歯ブラシの洗浄・保管に関する実験的検討○大幡 加奈¹⁾、加藤 洋司²⁾

1) 兵庫医科大学病院、2) 県立広島大学 保健福祉学部

05 疼痛感受性の左右差の存在有無を明らかにするための実験研究○木村 かん奈¹⁾、足立 莉穂奈²⁾、竹中 沙耶³⁾、柳本 安耶²⁾、石井 雄大⁵⁾、
岡山 貴史⁴⁾、片山 詩穂⁵⁾、澤中 秀敏⁵⁾、掛田 崇寛⁵⁾1) 兵庫県立加古川医療センター、2) 兵庫県立尼崎総合医療センター、3) 神戸市立医療センター中央市民病院、
4) 近畿大学医学部附属病院、5) 関西福祉大学**06 ポジショニング介入により影響をうける生理的指標及びその介入方法の検討**○小林 優紀¹⁾、松田 友美²⁾、進藤 真由美²⁾、石田 陽子²⁾1) 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院、
2) 山形大学大学院 医学系研究科 看護学専攻・医学部看護学科**07 療養環境に対して看護師が実施する効果的な環境整備**○藤本 祐実¹⁾、高橋 葉子²⁾

1) 医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院、2) 札幌市立大学 看護学部 基礎看護領域

08 綿タオル及び化繊ディスポーザブルタオルを用いた清拭の保温性とリラックス効果の比較

○植松 春香¹⁾、檜山 明子²⁾

1)医療法人 深仁会 手稲深仁会病院、2)札幌市立大学 看護学部 看護学科

09 エアマットレスに対するずれにくいベッドメイキングの検討 —三角法と結び法の比較—

○高津 愛結¹⁾、竹内 朋子²⁾、小林 美綺³⁾、齋藤 このみ⁴⁾、玉井 夏帆⁵⁾、前田 奈那子⁵⁾、八島 あやめ⁶⁾、由井 愛莉⁷⁾、横畑 智洋⁵⁾、渡辺 千華子³⁾、安部 茉里⁸⁾、松平 明日絵²⁾、岩淵 起江²⁾、原口 昌宏²⁾

1)東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター、2)東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部、
3)社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院、4)日本医科大学付属病院、
5)独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター、6)独立行政法人 国立病院機構 東京病院、
7)公益財団法人 がん研究会 有明病院、8)昭和大学病院

10 災害時に必要な多職種連携におけるコミュニケーションの促進に向けた教育内容の文献レビュー

○田附 優海¹⁾、西川 未来²⁾、岩崎 文枝³⁾

1)自衛隊中央病院、2)自衛隊札幌病院、3)防衛医科大学校 医学教育部 看護学科

11 ハッカ油を用いた温罨法が排便促進に及ぼす効果

○武藤 真里奈¹⁾、渡邊 順子²⁾、倉本 直樹²⁾

1)公立大学法人 横浜市立大学付属病院、2)静岡県立大学 看護学部

12 皮脂量の違いが清拭による皮膚バリア機能に与える影響

○土山 啓¹⁾、小川 結衣²⁾、山口 真弥³⁾、杉村 直孝³⁾、矢野 理香⁴⁾

1)社会医療法人社団 愛心館 愛心メモリアル病院、2)北海道大学病院、3)北海道大学大学院 保健科学院、
4)北海道大学大学院 保健科学研究所

13 刺激系のアロマオイルによる嗅覚刺激が生理反応および心理反応に及ぼす影響

○傳田 萌子¹⁾、田中 裕二²⁾、雨宮 歩²⁾、菅原 久純²⁾、加瀬 竜太郎²⁾、小宮山 政敏²⁾

1)千葉大学医学部附属病院、2)千葉大学大学院 看護学研究科 生体看護学専門領域

オンライン投稿の仕組み

佐伯 由香¹⁾、岡田 忍²⁾、佐藤 正美³⁾、岡田 淳子⁴⁾、野本 百合子⁵⁾、早瀬 良⁶⁾

- 1) 愛媛大学大学院 医学系研究科、2) 千葉大学大学院 看護学研究科、
- 3) 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科、4) 県立広島大学 保健福祉学部 看護学科、
- 5) 愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科、
- 6) 中部大学 生命健康科学部 保健看護学科

看護技術のちから！

ジェネラルナースの技術力を高めよう！

大久保 暢子、武田 利明、吉田 みつ子、縄 秀志、菱沼 典子、西田 直子、
水戸 優子、加藤木 真史

日本看護技術学会 技術研究成果検討委員会